

伏山STEPS 情報活用能力を育むカリキュラム

分類要素	概要	学習内容	低学年				中学年				高学年				要素分類
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	5年生	6年生					
A 知識・技能	S スキル	目標	○コンピュータの操作を知り、マウスやキーボードの使い方を理解する。	○コンピュータやインターネットの特性を理解して、情報を検索して収集し、ローマ字入力や簡単なスライドショーを作る。	○コンピュータやインターネットの特性を理解して、情報を検索して収集し、ローマ字入力や簡単なスライドショーを作る。	○コンピュータやインターネットの特性を理解し、生活や学習活動において情報を正確に読み取り分析し、自分の考えやグラフでまとめたスライドショーを作る。									
		A1.コンピュータの取り扱い A2.マウス、キーボード、タッチペンの使い方 A3.学習活動ソフト(スカイニュー)の操作 A4.インターネットの使い方 A5.ファイル保存、フォルダ管理 A6.カメラ機能の操作 A7.文字入力(タイピングソフト) A8.プレゼンテーションソフトの操作 A9.表計算ソフトの操作 A10.プログラミングソフトの操作 関連教科	使用時のきまりを知る。準備や片付けができる。電源のON/OFFを知る。 マウス(タッチペン)の使い方、クリック、ドラッグ、キーの名前を知る。論理ソフト(ロジックキッズ)などを利用してお絵かきができる。 先生画面と児童画面の切り替え機能を知り、授業参加のきまりを知る。 ファイルの開き方保存の仕方を理解する。名前をつけて保存し上書き保存ができる。 タブレットのカメラ機能を利用し写真や、動画の撮影ができる。 キーボードを使ってひらがな入力ができる。タイピングソフト初級編をマスターする。	充電ができる(容量の表示を確認する)容量を変える。アプリのログイン/ログアウトができる マウスの使い方を知る。クリック、ドラッグ、キーの使い方を理解、活用する。 提出機能、発表機能を利用して授業に参加し発表することができる。 インターネットの使い方を理解する。検索の仕方を知る。必要な情報を検索できる。ブラウザの機能(リンク)お絵かき機能を知る。 自分のフォルダに名前をつける。データのコピー、保存、ファイルの整理ができる。 撮影した写真や動画をフォトに保存することができる。簡単なスライドショーやアルバムを作成ができる。 キーボードを使ってローマ字入力ができる。タイピングソフトの中級編をマスターする。	情報編集や加工ができる。 複数のWEBページを開き閲覧することができる。 授業参加支援ソフト、ワープロや論理ソフトの中で、データのコピー、貼り付け、切り取りができる。写真やイラストの挿入ができる。 文字のレイアウトを変更する。400字程度の記事を正確に入力することができる。タイピングソフトの上級編を正しく入力することができる。 プレゼンテーションができる。文章や写真のレイアウトを考えて複数のスライドを作成することができる。 意図した活動を実現するための操作方法や手順を知る。										
B 思考・判断・表現	E エクスプローラー	目標	五感を通した直接体験や図画やWEBから大切な情報に気づくことができる	メモをしたりコピーしたりして必要な情報を収集することができる。情報を取捨選択できる。	メモをしたりコピーしたりして必要な情報を収集することができる。情報を取捨選択できる。	・情報収集の手段を選択して自分に必要な情報を得ることができる。 ・情報活用して、情報を整理することができる。									
		B1.情報収集の方法 (資料・インタビュー・アンケート・WEB検索) B2.必要な情報の整理 B3.複数の情報の比較分析 目標 B4.情報の発信 B5.情報を組み合わせて新たな考えの創造 B6.発信内容の構成 B7.表現手段の選択・特性に合った発信方法 B8.受け手を意識した発信方法 B9.自分の情報活用の評価・改善 関連教科	・新聞や図画を読んで新しい発見しよう ・疑問に思ったことをあつちの人にインタビューしよう ・友達に聞きたいことを質問しよう ・大切なことをメモしよう メモしたこと必要な内容を選んで伝えよう 友だちの調べたことと自分の調べたことの違いや良さを見つけよう ○はじめにめあてや自分の構成を考えて伝えたいことをまとめることができる ○相手の意見をとりあひらずに表現することができる 伝えたいことを話そう 友だちの意見を付け加えよう 友だちの意見を聞き取りながら発表しよう はじめにめあてや自分の構成をまとめる 相手や目的に応じて自分の情報を組み合わせて表現する 招待状、誓約書、リーフレットの作成 地域の友や幼稚園のお友だちなど表現方法を選んで、伝えることができる。 自分の考えを比べて、よいところを取り入れることができる。収集した情報から課題を見つけ、活動を計画することができる。	・図画や写真・資料を探す ・疑問に思ったことをあつちの人にインタビューしよう ・お話をききながら大事なことをメモしよう ・インターネットで調べたことを検索しよう メモしたこと必要な内容を選んで伝えよう 友だちの調べたことと自分の調べたことの違いや良さを見つけよう プレゼンテーションソフトを使って自分の思いや考えを表現することができる。 表現方法を選択し相手に伝わりやすく表現することができる。	・図画や写真・資料を探す インタビュー、アンケート、マーケティング、イメージマッピングWEB検索に必要な情報を探す。 複数の情報から必要な情報を整理する 複数の情報を比較分析する 自分の思いを相手に話す 複数の情報を組み合わせて新しい考えを創る 招待状の構成で内容を伝えることができる。 ワープロ、動画、パンフレット、新聞、討論会など適切に選んで工夫することができる。 相手に応じて選択して適切に表現方法を変更することができる 問題を焦点化してゴールを設定し、問題解決のために情報活用の計画を立てて調整しながら実行する。										
A 知識・技能	P プログラミング	目標	○問題解決における情報の大切さを意識しながら、動きや活動の順序に気づきよさを知ろう	意図した簡単な動作を実現するために命令の組み合わせを考える	意図した簡単な動作を実現するために命令の組み合わせを考える	コンピュータを使った問題解決を通し、情報及び情報技術の活用をふりかきり改善点を論理的に考えよう									
		A11.プログラミングの活用 A12.分解 A13.抽象化 A14.組み合わせ B10.アルゴリズム的思考 B11.評価・分析 B12.一般化 関連教科	日常生活で順序がある場面があること気づく。 コンピュータを動かすために明確な手順(アルゴリズム)を命令する必要があることに気づく。 動きはいつかの小さな動きに分けておこなう コンピュータを動かすためには命令するための記号があることに気づく 小さな動きは順序がある場面があることに気づく 直線的な体験をおとし並び替えや穴埋め、動作の手順(アルゴリズム)を考える	順序を考えたり、ゆけたり、条件によって動きを変えたりする命令の組み合わせを考える 取り組みやすいうつろい小さな動きに分解する コンピュータに命令するための記号に置き換える 意図した活動を実現するための命令の組み合わせを考える プログラミングソフトで操作を繰り返し動作の手順(アルゴリズム)を考える 自分の情報をより手際よく組み合わせることでよくなる改善すればよいかを考える	意図した活動を実現するための操作方法や手順を知る。 図示より単純な手順の表現方法を理解する 目的や意図に合わせて必要な要素を見だしコンピュータに命令するための記号に置き換える 意図した活動を実現するために複数の命令を組み合わせる効果的な方法を考える 改善点を論理的に考えることができる 複数の命令を組み合わせる効果的な組み合わせを考え出すことができる モデル化やシミュレーション等をおこなう多様な立場や将来を想定して問題に対する解決策を考察する。										
A 知識・技能	S セキュリティー	目標	○情報モラルや情報セキュリティについて考える。	○情報モラルや情報セキュリティについて理解する	○情報モラルや情報セキュリティについて理解する	○情報モラルや情報セキュリティについて考える。									
		A15.発信者としての責任 A16.インターネット A17.ルールを作り守る A18.セキュリティ A19.情報技術と健康 A20.個人情報取り扱い A21.パスワード A22.ゲーム・スマホ・SNS C1: 試行錯誤し計画や改善しようとする態度 C2: 多角的に情報を検討しようとする態度 C3: 責任を持って適切に情報を届かせる態度 C4: 情報社会に参画しようとする態度 関連教科	相手の聲が聞こえたり、他人の悪口、誹り言や個人情報(住所や電話番号)を書き込んではいけなことを知る。書き込んだら完全に消すことはできないことを知る。 インターネットは全世界につながっていることを知る。 約束や決まりを守る 大人と一緒にコンピュータを使い、不適切な情報に出会わない環境で利用し、危険に近づかない。 情報機器を長時間使用することで生活リズム、健康に影響が出ることを知る 自分の情報や他人の情報を大切に扱う パスワードの大切さを知る。 仮想と現実の区別をつける 問題解決における情報の大切さを意識して行動する 情報の活用をふりかきり改善を見つけておこなう 事故と関係する事例を見つけておこなう 情報を複数の視点からとらえようとする 人の作った物を大切に扱い、勝手に壊してはいけなことを知る ICT機器を利用するときの基本的なルールを補足し行動しようとする	正確な情報の送受信をする(チャット送信をしない)勝手に他人の写真を公表してはいけなことを知る。 不特定多数を相手にインターネットによる情報を発信する。 情報の発信や情報のやり取りする場合のルール・マナーを知り守る 危険や不適切な情報に出会った時は大人に意見を求め、適切に対応する 情報機器を長時間することで健康に影響が出ることを知り適切に対応する 自分の情報や他人の情報を大切に扱う パスワードを自分で管理することができる ネット社会の危険を理解する 目的に応じた情報の活用を見直しを立てようとする。情報のふりかきり改善を見だしようとする 情報の取扱いのルールを身につけようとする。新たな視点を受け入れて、今までより、よりよいものしようとする。 自分の情報や他人の情報の大切さをふりかきり改善しようとする	真偽のわからない情報を転載してはいけなことを理解する。インターネット上には誤った情報もあることを理解してどうにかしない インターネットの特性を理解したコミュニケーションをする。よりよいネットワーク社会の在り方を考えよう活用、交流する 約束や決まりを守る 書き込んだら完全に消すことはできないことを知る 健康を守る行為を自覚する(ネット中毒、依存症)人の安全を脅かす行為をおこなわない 自分の個人情報や他人の情報を大切に第三者にまわさない パスワードやコンピュータウイルス対策など情報を守る方法があることを理解する トラブル防止に適切に扱う(カギ撮影や、投稿を止め、オンラインゲームなど) 情報の取扱いのルールを身につけようとする。情報のふりかきり改善を見だしようとする。 情報の取扱いのルールを身につけようとする。情報のふりかきり改善を見だしようとする。 情報に関する自分や他人の権利があることを踏まえて尊重しようとする 通信ネットワーク上のルールやマナーをふりかきり改善しようとする 生活の中で必要となる情報セキュリティについてふりかきり改善しようとする 情報メディアの利用による健康の影響をふりかきり改善しようとする 情報通信ネットワークは共用のものであるという意識を持って行動しようとする 情報や情報技術をよりよい生活や社会作りにつかしようとする。										